

# 大阪 P C B 処理事業所 プラント設備解体撤去工事 実施計画について

中間貯蔵・環境安全事業株式会社  
大阪 P C B 処理事業所

令和 7 年 8 月

# 解体撤去の考え方

## PCB廃棄物処理施設の解体撤去にあたっての基本方針

中間貯蔵・環境安全事業(株) (以下「JESCO」という。) 全事業所共通な対応として、「PCB廃棄物処理施設の解体撤去にあたっての基本方針」(以下「基本方針」という。) を令和3年11月24日に策定した。この基本方針では以下に示すようにJESCO施設の解体撤去にあたって環境の保全、安全衛生及び情報共有・公開の3点に主眼をおいた規定を定めている。大阪PCB処理事業所においても、この基本方針を遵守し、解体撤去を実施する。

## 解体撤去にあたっての基本的な考え方 (基本方針の抜粋・要約)

### (1) 環境保全の徹底

- ・排気、排水、騒音、振動等の影響を防止するための措置を講じる。
- ・解体撤去に伴い発生する廃棄物については、高濃度PCBが付着した廃棄物はJESCO施設で低濃度PCB付着レベルまで除去分別もしくは卒業判定基準以下まで無害化処理を実施し、低濃度PCB付着廃棄物は無害化処理認定施設等に適切に払い出す。

### (2) 工事における万全な安全衛生の確保

- ・解体撤去に携わるJESCO、運転会社、元請業者及び下請業者の間の十分な意思疎通を図ることともに、手順や基準等を整備し工事における労働安全衛生体制を確立する。

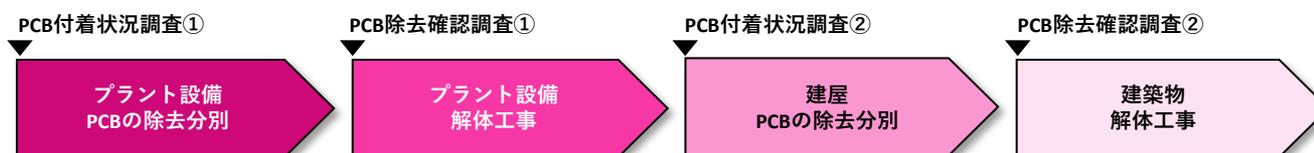
### (3) ステークホルダー等の理解と信頼の確保のための情報共有・公開

- ・解体撤去においても、その実施にあたっての計画や進捗状況、周辺環境モニタリング等に関する情報などを地域住民や国・自治体、関連業者等と共有し積極的に公開する。
- ・こうした情報を立地自治体の監視部会等において説明することにより、ステークホルダーさらに社会一般から理解と信頼の確保に努める。

**「基本方針」と「解体撤去マニュアル」等に沿って安全確実に解体撤去を実施する。**

## 《解体撤去の流れ》

(JESCO PCB 廃棄物処理施設解体撤去実施マニュアル共通編 より)



※PCB除去分別とは、設備等に残存あるいは付着している高濃度PCBを洗浄や拭き取り等により取り除く作業

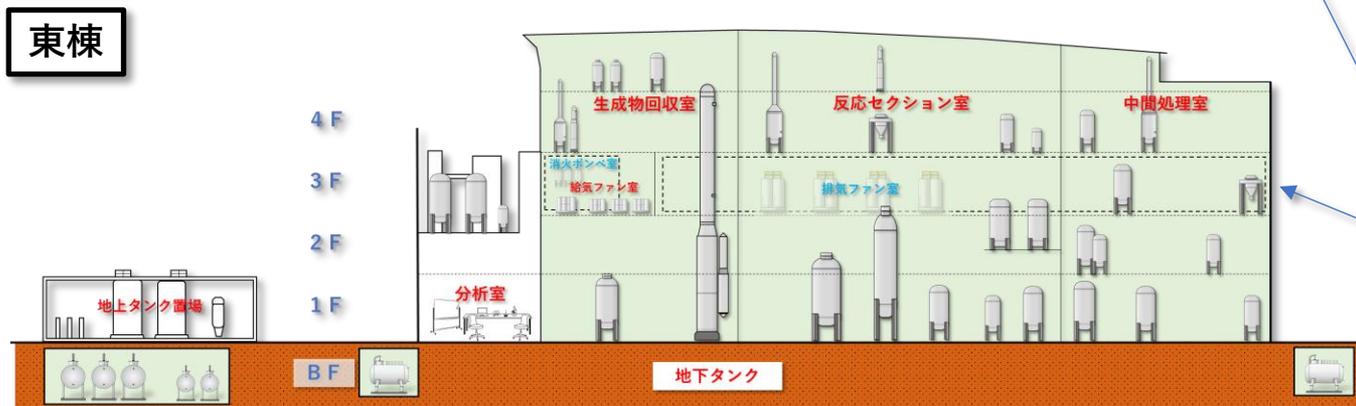
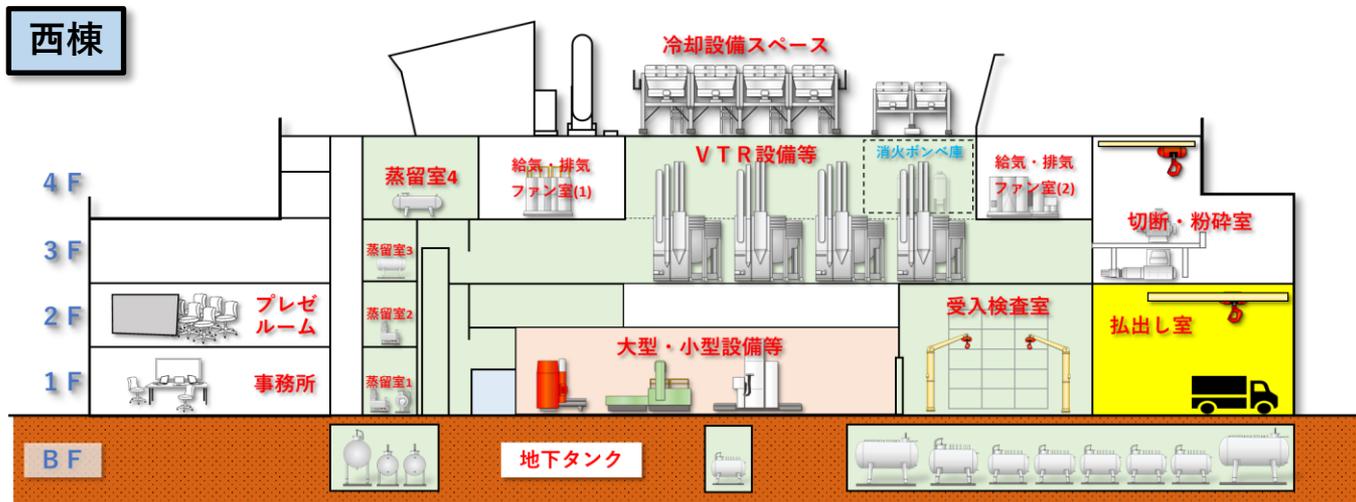
# 実施計画書の目次

1. プラント設備の除去分別と調査検討
2. 先行解体撤去工事
3. スケジュール
4. プラント設備解体撤去工事（概要）
5. 作業者の労働安全衛生対策
6. 労働災害防止の取組み
7. 周辺環境対策
8. 情報共有・公開
9. 低濃度PCB付着廃棄物の処理
10. プラント設備解体撤去工事（解体後：予定）



# 1. プラント設備の除去分別と調査検討

P C B 付着物の除去分別を行いその後、P C B 付着状況調査を実施し解体撤去の順序を整理する。



## < 配管・設備等の洗浄 >

設備の外面の拭き取りや配管・タンク・槽等は循環・浸漬洗浄を行いP C B 濃度を低減します。



## < 調査検討 >

P C B 付着状況調査を実施し解体順序の検討を行います。



## < 先行解体撤去工事 >

高濃度が残る箇所については先行解体撤去工事で既存のV T R 設備を稼働させ自所処理を行ないます。



## < 本工事 >

プラント設備解体撤去工事へ

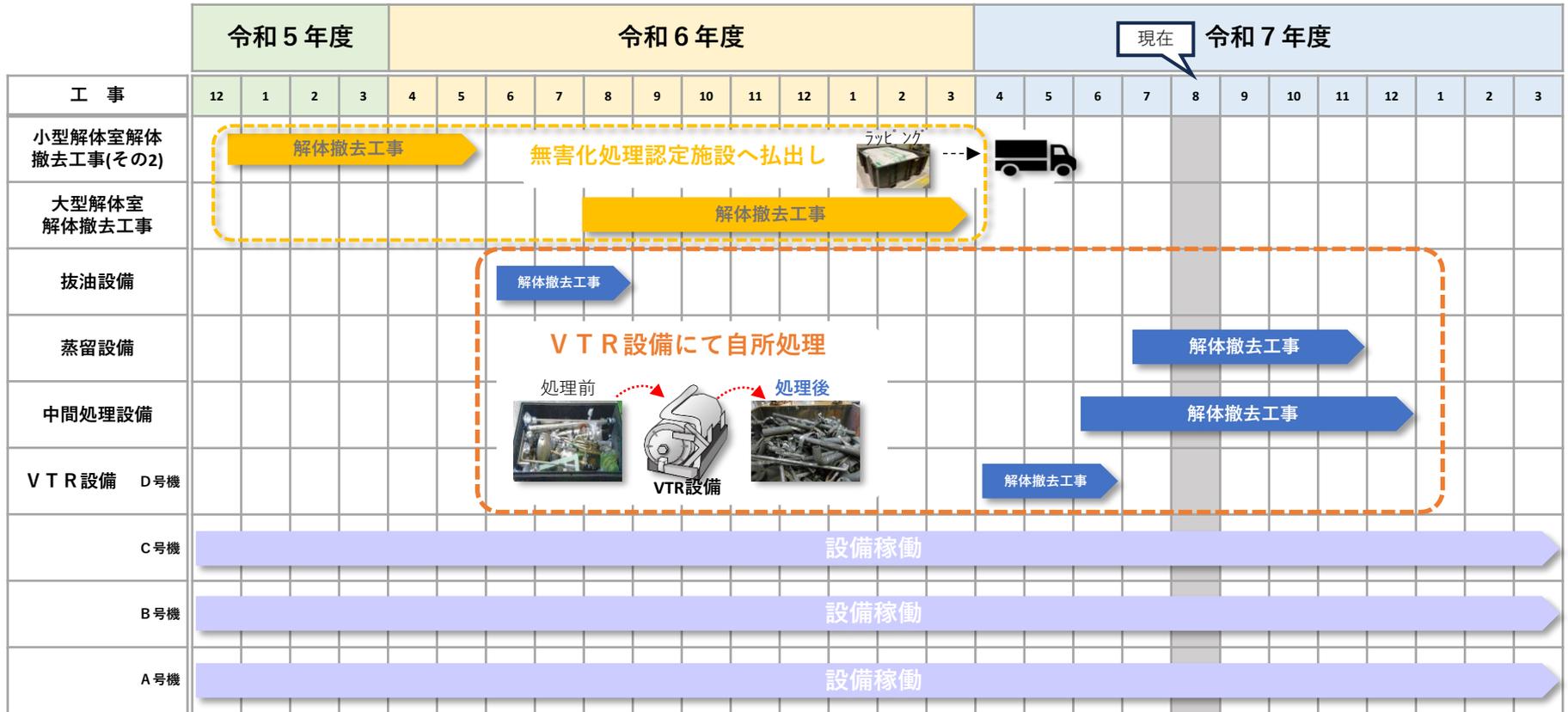
### P C B 管理区域

- レベル 3
- レベル 2
- レベル 1
- 一般P C B 廃棄物取扱区域
- 非管理区域

## 2. 先行解体撤去工事

事業終了に伴い停止させた小型・大型解体室の設備を解体撤去済み（無害化処理認定施設へ払出し）

調査した結果をもとに高濃度の残るおそれがある設備や配管等をVTR処理するプラント設備の先行解体撤去工事を令和7年度末までに実施。また稼働していないVTR設備は（炉本体以外）解体します。



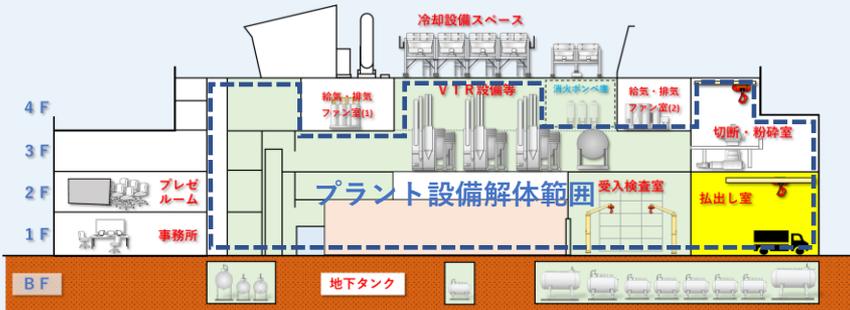
令和7年度末までに高濃度の残る設備や配管等をVTR処理を行ない、令和8年度からプラント設備の解体撤去を行う。



## 4. プラント設備解体撤去工事（概要）

西棟

プラント設備解体前

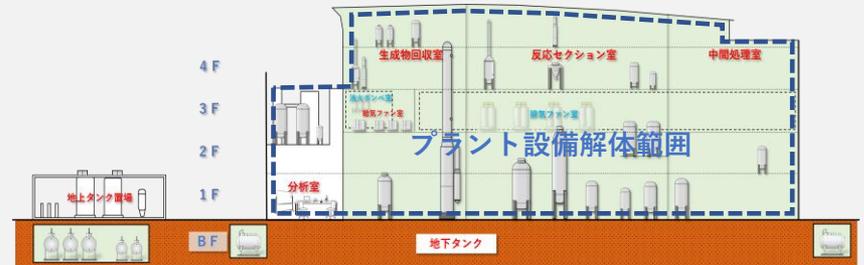


- ポンプピット室
- 受入検査室
- VTR処理室 等

約 1,300(ton)

東棟

プラント設備解体前



- 中間処理室
- 反応セクション室
- 生成物回収室 等

約 1,100(ton)

約 2,400ton（東西棟）のプラント設備・配管等の解体撤去を行います。

残置設備

<換・排気設備> <防災設備> <地下タンク>

<建築物解体時に撤去する設備 例) VTR本体及び反応器等>

建築物と併せて解体する方が安全かつ効果的・効率的な設備については建築物の解体撤去工事に含む。

## 5. 作業者の労働安全衛生対策

■ プラント設備解体撤去工事において労働安全衛生上の有害因子に対し、以下に示す通り適切な対策をJESCO又は工事請負者で講じます。

労働安全衛生上の有害因子	対 策
PCBのばく露	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前作業による液抜き/洗浄、及びPCB除去分別によるPCB濃度低減</li> <li>・ 解体撤去管理レベルに応じた保護具着装</li> <li>・ 切断面や開放面の養生によるPCBの拡散防止</li> <li>・ PCB管理区域及び解体撤去管理レベルに応じた入退室管理</li> </ul>
墜落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業床・手摺・囲い・覆い等の墜落防止措置を原則とし、それが困難な場合は墜落制止用器具を使用</li> <li>・ 高所作業時は監視員を配置。また上下作業は原則禁止</li> </ul>
落下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有資格者による玉掛け、作業指揮者の配置</li> <li>・ 工具や解体品を固定するなど落下防止措置</li> <li>・ 床面や手摺の隙間に防災シート等による落下防止養生の実施</li> <li>・ 高所作業時は監視員を配置。また上下作業は原則禁止</li> </ul>
挟まれ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有資格者による玉掛け、作業指揮者の配置</li> <li>・ 工具や解体品を固定するなど移動防止措置</li> </ul>
熱中症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既設の換・排気設備、スポットクーラー等の利用</li> <li>・ 暑さ指数（WBGT：湿球黒球温度）を指標として、作業内容、作業時間の検討</li> <li>・ クールベスト等の着用</li> </ul>
感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症の動向により判断する。 （工事事務所におけるマスク着用及び手指の消毒、体温管理等）</li> </ul>

## 6. 労働災害防止の取組み

### 工事監理の実施

- プラント設備解体撤去工事の環境保全、労働安全衛生、及び品質等が、工事請負契約書・工事仕様書・施工計画書のとおり適切に実施されていることを書類確認や現場確認等を通じて監理し、またJESCO、工事請負者との報告、連絡、相談、調整等並びに情報共有を図り連携を密にとりながら安全かつ効果的・効率的にプラント設備解体撤去工事が進むよう施工監理していきます。
- 定期的に安全対策課による安全パトロールも実施します。



# 7. 周辺環境対策

プラント設備解体撤去工事において、「密閉された建屋内での作業」「作業室内負圧管理」「適切なモニタリング」を柱と以下の周辺環境対策を講じます。

**密閉された建屋内での作業**

- ・密閉された建屋内かつ解体撤去レベルにより区分された管理区域での解体撤去工事。
- ・必要に応じてグリーンハウスを設置し、局所排気した密閉空間での施工。

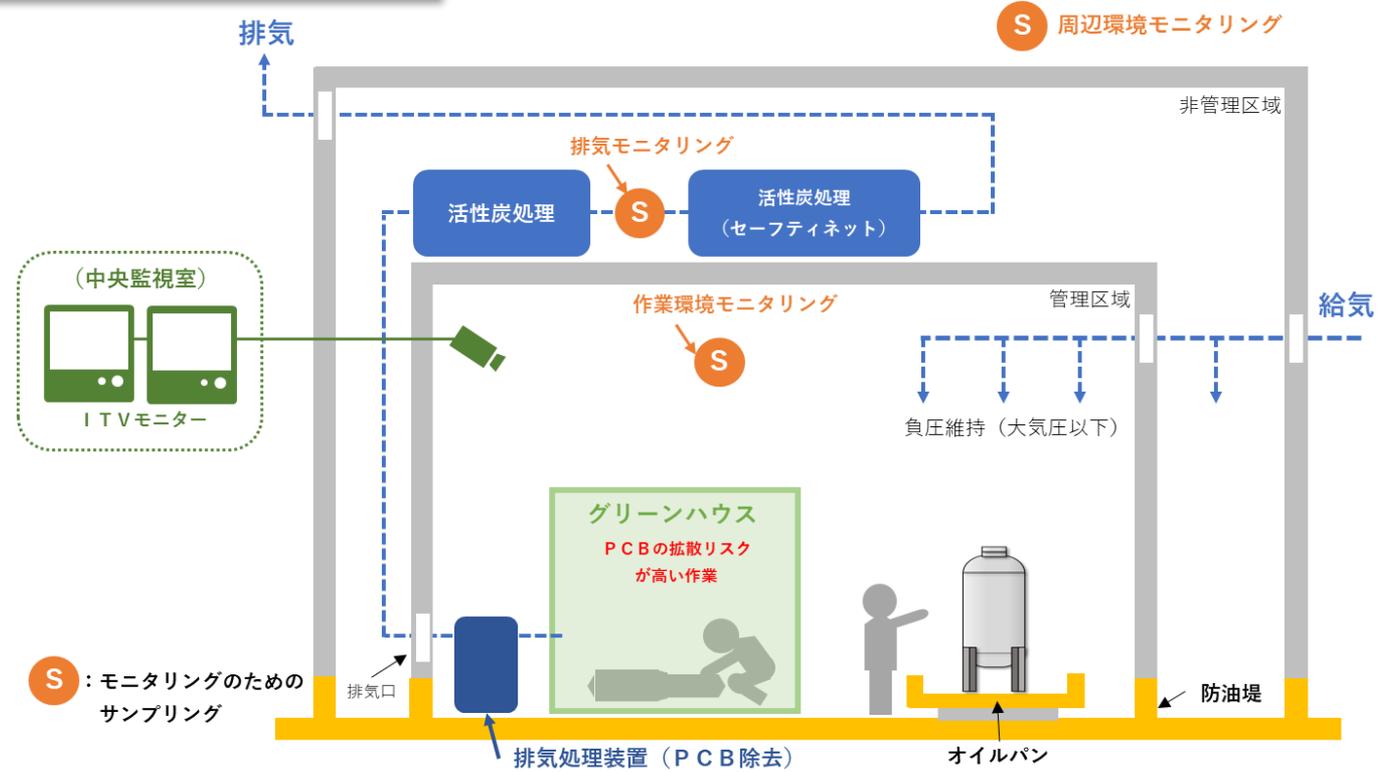
**作業室内負圧管理**

- ・建屋外に室内の空気が漏れ出さないように負圧が維持された状態での解体撤去工事。
- ・室内の負圧が維持できない状態が生じた場合は、工事を中断すること。

**適切なモニタリング**

- ・「大阪ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る環境保全の確保について（通知）」（大環事第889号平成18年8月31日）に従い適切にモニタリングを実施。

## 解体撤去における環境・安全対策



## 8. 情報共有・公開

### 事前協議

- プラント設備解体撤去工事の実施計画を策定するにあたり、立地自治体との事前協議を行います。

### 事業部会等への適宜進捗状況の報告

- 大阪PCB処理事業部会並びに監視部会において実施計画を説明し、適宜解体撤去の進捗状況や周辺環境モニタリングの結果を報告します。

### 周辺住民への情報共有・公開

- 解体撤去の進捗状況や周辺環境モニタリング等の情報を大阪PCB廃棄物処理事業だよりやJESCOのホームページ等にて積極的に情報公開してまいります。

## 9. 低濃度P C B付着廃棄物の処理

### P C B付着廃棄物の判定

- プラント設備解体撤去工事前に実施しているP C B付着状況調査の結果を基に廃棄物の種類の判定に活用します。

廃棄物の種類	処理方法
高濃度P C B付着廃棄物	・ V T R 設備にて自所処理（先行工事）。
低濃度P C B付着廃棄物	・ 無害化処理認定施設にて処理。
該当性判断基準以下 （P C B非汚染物）	・ リサイクル又は産業廃棄物として処分。

### 低濃度P C B付着廃棄物運搬時の漏洩防止対策

- 低濃度P C B付着廃棄物をラッピングし鉄箱（通い箱）に収納等した上で運搬をします。



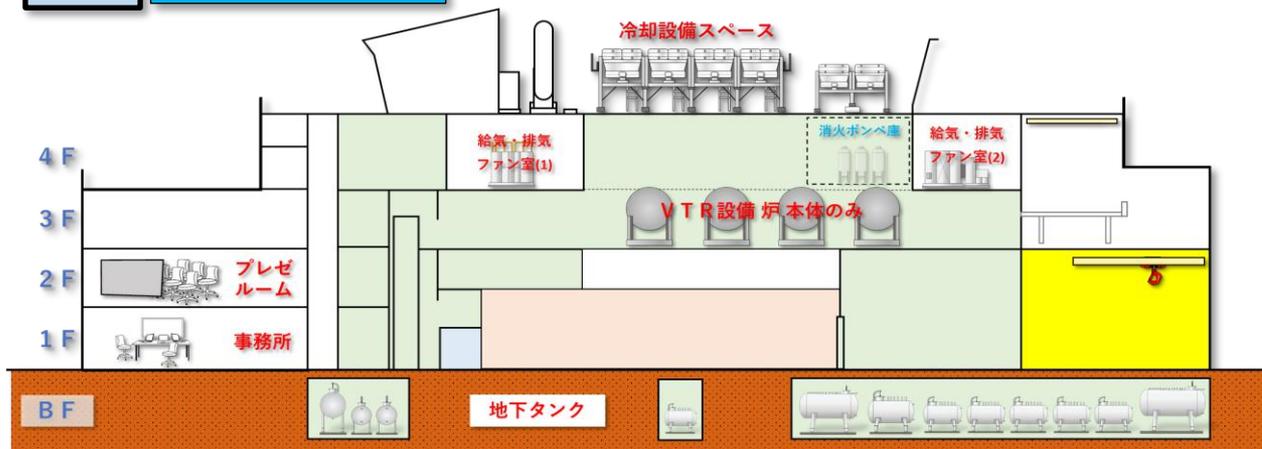
積み込み



# 10. プラント設備解体撤去工事（解体後：予定）

西棟

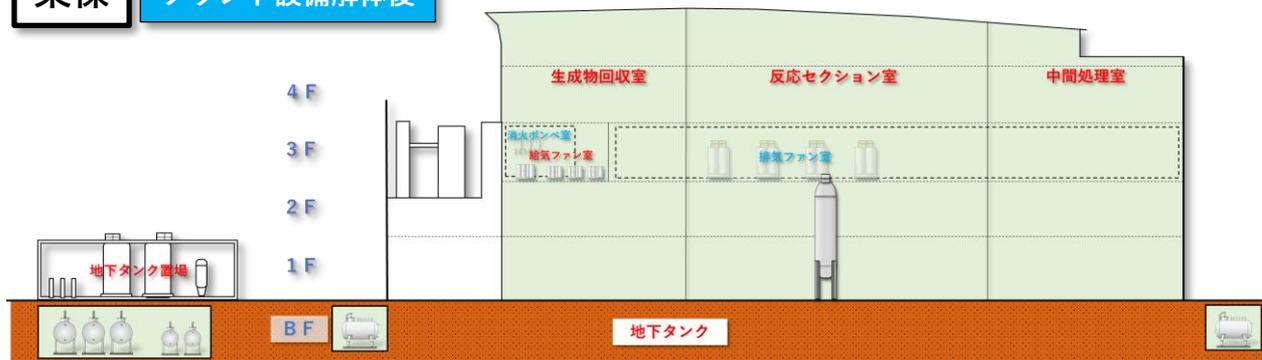
プラント設備解体後



※ 換・排気設備や防災設備及び地下タンク等は残置する

東棟

プラント設備解体後



※ 換・排気設備や防災設備及び地下タンク等は残置する

## < プラント設備解体撤去工事 >

既存の換・排気設備により負圧を維持し作業者への安全を確保しプラント解体を実施いたします。

必要に応じて局所排気等を使用し作業環境を確保します。

なお、換・排気設備は建屋の除去分別が完了するまで稼働させます。

## 残置設備

### < 換・排気設備 >

建屋内の負圧を維持し解体撤去工事を行っている室内の空気を外へ出さないため。

### < 防災設備 >

万が一の災害への備え。

### < 建築物解体時に撤去する設備 >

建築物と併せて解体する方が安全かつ効果的・効率的な設備。

- 地下タンク等  
(西棟33基、東棟34基)

